目指せ!! 日本一の中小企業・ベンチャー立県

栄えある第８回受賞者

埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰

第8回表彰式

埼玉産業人クラブは4月26日、さいたま市浦和区の浦和ロイヤルパインズホテルで「埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰」（埼玉県、埼玉りそな銀行、日刊工業新聞社後援）の第８回表彰式を開いた。会員ら約１６０人が集い、埼玉県知事賞を受賞したテラダイ（入間市）の寺園智樹社長や埼玉産業人クラブ会長賞の竹内産業（八潮市）竹内範昭社長ら受賞者５人をたたえた。各受賞者には、表彰盾と記念品を贈呈。上田清司県知事は「挑戦する経営者を応援し、販路開拓や技術革新に少しでも役立ちたい」とあいさつした。プレゼンテーションの場では、受賞者が独自の経営方針を紹介。参加者は熱心に耳を傾けた。

独自の経営方針で成果

審査委員を務めた
増田埼玉産業人クラブ会長

「埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰」は、埼玉産業人クラブ（増田文治会長＝マスダック社長）が埼玉県、埼玉りそな銀行、日刊工業新聞社の後援、埼玉県商工会議所連合会など7団体の協力を得て創設した表彰制度。

第8回となった今年度は、計16件の応募・推薦があった。

審査の結果、埼玉県知事賞にテラダイ（入間市）の寺園智樹社長、埼玉産業人クラブ会長賞に竹内産業（八潮市）の竹内範昭社長、特別賞に青木科学研究所（美里町）の青木久治社長、ランダルコーポレーション（朝霞市）の岡島正和社長、日新化成（さいたま市西区）の小松幹也社長をそれぞれ選出した。

表彰式冒頭では、審査委員を務めた増田埼玉産業人クラブ会長が「（受賞企業は）独創性と技術を持ち、業績も良い企業。審査過程で大いに驚かされた」とあいさつ。その後、受賞記念プレゼンテーションとして、各受賞者がこれまでの実績や将来ビジョンなどを発表した。

表彰後には懇親会を開催。宮川正関東経済産業局長や井水治博日刊工業新聞社社長も参加し、受賞者らと懇親を深めた。

受賞者向けの記念品を県産伝統工芸品としているのも同表彰制度の特徴。今回は、春日部市）の張り子人形店（春日部市）の張り子人形が贈られた。

祝辞

埼玉県知事　上田　清司氏

受賞者の皆さま、本日はおめでとうございます。日本は戦後人口が拡大する中でさまざまな経済政策を打ち込み、発展してきました。ところが１９９５年を境に人口も一人当たりの国内総生産（ＧＤＰ）も減少。あっという間に中国に抜かれました。労働人口が減少し、黙っていても経済が伸びる時代は終わったのです。日本はこれから量ではなく〝質〟で世界から尊敬を集める経済環境をつくっていかなければなりません。

労働人口が減少し、国の税収が減ると、社会政策が増えますので、関連産業が拡大する可能性があります。いずれ中国やアジア諸国も人口が減少しますから、例えば日本の社会福祉産業は最も先進的な産業として輸出できますし、グローバル化した世界の中で、いくらでも市場があると考えられます。私たちは人口拡大社会における成長プロセスを忘れ、高齢者や海外市場を対象にした新しいフロンティアを目指していかなければなりません。

県の産業施策もここ何年かで新たなフロンティアへとシフトさせました。今後も県内企業の皆さまの販路拡大や技術革新に役立つ施策を提供していきます。

新たなフロンティア

第31回西海記念賞

平和産業・仁科工業など3件に

第31回西海記念賞は平和産業（さいたま市南区）技術開発部部長の井出正典氏、課長の丹内克芳氏、仁科工業（同市中央区）久喜工場製造技術主任の佐々木司氏、ネツシン（三芳町）製造部の桑原佳代氏、加瀬昌子氏、高島幸恵氏、十条電子（川口市）の竹林春海氏が受賞した。埼玉産業人クラブは、4月26日に開いた定時総会の場で同賞の授与式を開催。受賞者へ記念品を贈った。

◇　◇

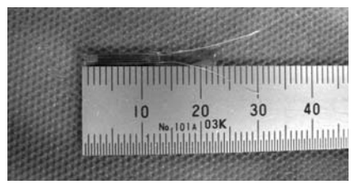
平和産業と仁科工業は共同で、フッ素樹脂と金属を融合させた被膜を付けた焼結含油軸受「ＬＦメタル」を開発した。従来品に比べ摩擦係数を半減し、静音性、耐久性を向上。平和産業の軸受製造技術と仁科工業のメッキ技術を持ち寄った。

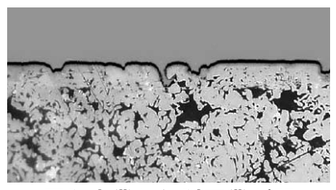
一方、ネツシンはフィルム型白金測温抵抗体感温部（素子）の小型化に成功した。欧米の競合製品と比べると、体積は５５０分の１程度だという。半導体素子などの小型化に伴う表面温度測定ニーズに対応する。

十条電子は放射線測定用の基準器「カウント君」を開発した。定量の放射線を放出する金属であるアメリシウムの性質を応用。放射線測定器と併用し、安価な測定器でも高精度で対象物のベクレル値を割り出せる。

西海記念賞は、2代目埼玉産業人クラブ会長の西海図至夫氏による寄付金を基に、創意・工夫・発明考案・技術技能改善に功績を上げた会員企業の従業員やグループなどを毎年表彰している。81年に制度が始まり、今回で31回目。

十条電子の放射線測定用
基準器「カウント君」


ネツシンのフィルム
型白金測温抵抗体


平和産業と仁科工業が開
発した「ＬＦメタル」

SAITAMA ビジネスライン
埼玉産業人クラブ

入会のご案内

時代を生き抜く
確かなビジネスパートナー
異業種交流会でつかむ
ビジネスチャンス!!

「埼玉産業人クラブ」第49回定時総会（2012年4月26日）

埼玉産業人クラブは、49年にわたって培ってきた知的財産、人的ネットワーク、会員の英知を結集して、先進的な活動を展開しています。
また、埼玉県の経済・産業発展を願って、埼玉県をはじめ関係各団体の後援、協力を得て「埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰」を04年に創設しました。
詳しくは「埼玉産業人クラブ」のホームページをご覧ください。

埼玉産業人クラブ
会長 増田文治
日刊工業新聞社さいたま総局 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-12-4 TEL048(872)2281 FAX048(872)2285
日刊工業新聞社川越支局 〒350-0043 川越市新富町2-22 TEL049(229)2225 FAX049(226)7578
部会活動
●NITEC埼玉産学交流会
●経営研究部会
●産友会
●TDU産学交流会
●埼玉ビジネス研究会
http://www.sangyojin.org　E-mail : clubsaitama@sangyojin.org

若手経営者・後継者の研鑽の場と異業種交流
埼玉ビジネス研究会　検索
会長　小原敏治（小原歯車工業社長）

熱心に受講する参加者（2011年11月8日）

「いかにビジネスを発展させたか～オヤジから学ぶシリーズ」「じっくり訪問シリーズ」では、企業による講演・企業見学・懇親会などを行い、若手経営者の研鑽の場として異業種の輪を広げ、人脈形成やビジネスの幅を広げるのに役立っています。

「じっくり訪問シリーズ」第17弾
【日程】7月20―21日（金―土）
【場所】㈱丸一ゴム製作所　宮城工場
【内容】工場視察、震災復興

埼玉産業人クラブは、会員同士の親睦と情報交換の場として、毎月1回18時から分科会も開催しております。

□6月13日㈬　㈲河野経営研究所　代表　河野律子氏
「農商工連携、六次産業化、企業の農業参入等、「農業と製造業との連携」の政策と現場」
□7月11日㈬　社団法人日本経営士会埼玉支部　豊田賢治氏
「ものづくり企業のための顧客創造　Facebookの活用法も」
□8月8日㈬　社団法人日本経営士会埼玉支部　上野延城氏
「ものづくり企業のための売り方づくり戦略」

参加申し込み先　clubsaitama@sangyojin.org